

# KBCR-M05VU用 Linuxレジスタアクセス関数仕様

株式会社シキノハイテック

## ■ 概要

当関数は、Linux (V4L2) 上から「KBCR-M05VU」(以下カメラ)のレジスタアクセスを可能とする関数です。UVC規格にてサポートされているアイリス調整コマンドを、レジスタアクセス用の独自コマンドとして使用する構成になっております(※1)。なお、当関数はカメラ側ファームウェアと協調して動作する為、カメラ側ファームウェアが当関数に対応している必要があります。

(※1) 当カメラは物理的にアイリス調整機構を有しておりませんので画質には全く影響いたしません

## ■ 関数詳細

### <レジスタ書き込み関数>

```
int m05vu_reg_write( int hcam, unsigned char addr, unsigned char data)
```

#### 引数

int hcam : カメラのデバイスファイルディスクリプタ  
(open() システムコールで取得されるint値)  
unsigned char addr : レジスタアドレス  
unsigned char data : レジスタ書き込みデータ

#### 戻り値

0 : 成功  
-1 : 失敗

### <レジスタ読み込み関数>

```
int m05vu_reg_read( int hcam, unsigned char addr, unsigned char* data)
```

#### 引数

int hcam : カメラのデバイスファイルディスクリプタ  
(open() システムコールで取得されるint値)  
unsigned char addr : レジスタアドレス  
unsigned char\* data : レジスタ読み込みデータ

#### 戻り値

0 : 成功  
-1 : 失敗

## ■ 注意事項

当関数は同時に呼び出さないでください。

(同時に呼び出される場合は、当関数呼び出しを排他制御されるようお願いいたします)

以上